



相手を意識した行動へつなげたい

校長 細川 靖雄

アメリカのニューヨークにあるエンパイア・ステート・ビルディングは、年間で世界中から約400万人もの観光客が訪れる人気観光スポットの一つです。その高さは、アンテナ部分まで含めると約440mで、102階あり、エレベーターは73基あるとのこと。映画のキングコングなどの舞台にもなったことで有名な建物です。

ある本に、そこで働く方へ取材した際のこと、次のように書いてありました。
(一部を抜粋)

地下2階の大きな部屋。そこには、黒いゴミ袋が何百も山と積まれていた。毎日、それだけのゴミがでるのだ。

その前には、作業着姿の男が5人。

男の一人「どういう仕事をしているのですか」と取材のアナウンサーが尋ねる。

わざわざ聞かなくても、テレビを見ている人には明らかだろう。

ところが、その男はにっこり笑ってこう答えたのだ。

「我々の仕事は、明日の朝、このすばらしいビルに世界各地から多くの人々が訪れたとき、ビルがびかびかに光るほどきれいで美しい状態であるようにすることです。」

この言葉の中には、ただ仕事をしているということに過ぎない、ではなくて、その仕事を通して自分たちがどのような役目を負っているのかと、その先を見据えているからこそであると受け止めました。

私は掃除をすることで、気持ちの変化が起きてきます。

- ・汚れていた箇所をきれいにすることで、すっきり感が高まります。
- ・自分がきれいにした箇所を汚れたままだと、何かいやな気持ちになります。だから、自分がきれいにした箇所以外でも、汚さないように気を配るようにしています。
- ・フックや棚から床などに物が落ちてると、気になります。拾って、戻の場所に戻そうと努めています。
- ・汚れている箇所をきれいになっている方を見ると、ありがたいなと思います。きれいだ、という感覚を持ち続けたくくなります。

学校では、掃除の時間を設けています。低学年では、自分たちの使用している教室や廊下など、身近な場所を担当します。高学年になると、それら以外の特別教室等も担当します。校舎内を歩いていると、掃除の時間でもないのにクラスの掃除の担当場所ではないところをきれいに行っている子を見かけました。また、荷物を持ち上げて横に移動させてからきれいにしている子や、棚の隙間を小さなほうきを何度も行き来させながらごみを集めている子を見かけることがあります。

学校をきれいにするすることで、他の人がどのような思いを抱くのか、と考えた行動につながられるようになると素敵だと思いませんか。